

ドイツ外国協会旧蔵 ナチスドイツ移住政策文書集成

Records of the Deutsche Ausland-Institut, Stuttgart: Records on Resettlement

本コレクションはナチスの移住政策に関する文書を集めたものです。主として、ドイツ民族対策本部 (Hauptamt Volksdeutsche Mittelstelle)、ドイツ民族性強化帝国委員本部 (Stabshauptamt des RKFDV)、治安警察・保安部長官直属の移民局 (Einwandererzentralstelle)、親衛隊人種及び移住本部 (Rasse- und Siedlungshauptamt, RuSHA) 等、ドイツ民族性強化帝国委員兼親衛隊帝国指導者兼ドイツ警察長官のハインリッヒ・ヒムラー傘下の、移住政策に関わっていた諸機関の文書で構成されていますが、大管区指導部 (Gauleitungen)、民族福祉事業本部 (NS Volkswohlfahrt)、帝国学生連盟 (Reichsstudentenbund)、帝国民族啓蒙・宣伝省 (Reichsministerium für Volksaufklärung und Propaganda) 等、ナチ党や国家の機関の文書も収録されています。これら移住政策に関する文書を一括して管理していたのがドイツ外国協会 (Deutsches Ausland-Institut, DAI) で、同協会が収集保存した文書群は、第二次大戦中と戦後に連合国によって押収されました。その後、原資料はドイツに返還され、米国公文書館にはマイクロフィルムの複製版が所蔵されています。

これらの文書群は、ナチスの人種理論を具体化したものであり、ナチスドイツが移住に関してロシア人、ルーマニア人、イタリア人で行なった交渉や合意事項、移住者に対する扱いや移住者の行動を記録するとともに、移住政策に関するナチスの諸機関の間の対立にも光を当てます。



◆データベースの概要

- ◆ 原資料所蔵機関: The National Archives (U.S.)
- ◆ 期間: 1937 年-1944 年
- ◆ 総ページ数: 81,300 ページ

- ◆ すべてのコンテンツと機能をお試しいただける 1 ヶ月の無料トライアルをご提供しております。
- ◆ 商品に関するお問い合わせは、センゲージラーニング株式会社、または代理店(株式会社極東書店)までお願いします。
- ◆ 正式のお見積りは、代理店までお願いします。
- ◆ ホスティングフィーはかかりません。

☞併せてご検討下さい。

ドイツ民族性強化帝国委員本部記録集成

**Records of the Office of the Reich Commissioner for the Strengthening of
Germandom**

ナチス政権下でドイツ民族の移住、占領地域への入植を統括したドイツ民族性強化帝国委員 (RKFDV) 関係の文書を電子化したものです。主として本部の文書で構成されていますが、それ以外に、ポーランドのカトヴィツェ支部、カウナス移住局員、南部親衛隊及び警察高級指導者の資料も収録されています